

# mitsubishi

## 三菱電機エアコン別売部品 自動昇降パネル取付・取扱説明書

MCMP-P・ALWH-E1

WT04786X04

 **注意** 適用機種を必ず確認し、誤使用のないようにお願いします。

### [もくじ]

#### ●取付説明 (P.1~P.13)



○安全のために必ず守ること	1・2
1. 取付上のお願い	3
2. 構成部品	3
3. 制御箱の取付け	3・4
4. 自動昇降パネル取付前の準備	5
5. 自動昇降パネルの取付け	5
6. オートベーンモーターの配線	5
7. 昇降パネル制御箱の配線	6
8. アース線の配線 (P112形パネルのみ)	6
9. サービスパネルの下降位置設定	7
10. 配線図メイバンの貼付け	7
11. 自動昇降パネルの固定	7
12. パネルネジ止め手順	8
13. サービスパネルの取付け	8
14. 自動昇降パネルの収納	9
15. オートベーンおよび自動昇降パネルの動作確認	9
16. 風の吹き分け方法 (ベーンの固定方法)	9
17. 風量分配 (7:3) 方法	10
18. 応急時のサービスパネルの固定について	10
○自動昇降パネル電気配線図	11~13

#### ●取扱説明 (P.14~P.21)

○お取扱いについて	
1. 使用上の注意	14
2. 各部の名前	15
3. ワイヤレスリモコン (昇降パネルリモコン) の取扱い	15
4. サービスパネルの昇降操作のしかた	16~19
5. 清掃のしかた	19
6. 応急昇降について	20
7. 「故障かな？」と思ったら	20
8. 保証とアフターサービス	21

# 安全のために必ず守ること

- ご使用前に、この「安全のために必ず守ること」をよくお読みのうえ据付けてください。
- ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。

 <b>警告</b>	誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷等の重大な結果に結び付く可能性が大きいもの。
 <b>注意</b>	誤った取扱いをしたときに、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があるもの。

- ・お読みになったあとは、お使いになる方に必ず本書をお渡しください。
  - ・お使いになる方は、いつでも見られる所に大切に保管し、移設・修理の時は、工事をされる方にお渡しください。
- また、お使いになる方が変わる場合は、新しくお使いになる方にお渡しください。

## 警告

**据付けは、販売店または専門業者に依頼してください。**

- ご自分で据付工事をされ不備があると、水漏れや感電、火災等の原因になります。

**据付工事は、この取付説明書に従って確実に行ってください。**

- 据付けに不備があると、水漏れや感電、火災等の原因になります。

**配線は、所定のケーブルを使用して確実に接続し、端子接続部にケーブルの外力が伝わらないように確実に固定してください。**

- 接続や固定が不完全な場合は、発熱・火災等の原因になります。

**電気工事は、電気工事士の資格のある方が、「電気設備に関する技術基準」、「内線規程」および据付説明書に従って施工し、必ず専用回路を使用してください。**

- 電気回路容量不足や施工不備があると、感電や火災の原因になります。

**加湿器等の別売品は必ず、当社指定の製品を使用してください。**

- また、取付けは専門の業者に依頼してください。ご自分で取付けられ、不備があると、水漏れや感電、火災等の原因になります。

**改修は絶対にしないでください。また、修理は、お買い上げの販売店にご相談ください。**

- 修理に不備があると、水漏れや感電、火災等の原因になります。

## 据付けをする前に

### ⚠ 注意

食品・動植物・精密機器・美術品の保存等特殊用途には使用しないでください。

- 食品の品質低下等の原因になります。

特殊環境には、使用しないでください。

- 油・蒸気・硫化ガスなどの多い場所で使用しますと性能を著しく低下させたり、部品が破損することがあります。

病院、通信事業所などに据付けされる場合は、ノイズに対する備えを十分に行って施工してください。

- インバーター機器、自家発電機、高周波医療機器、無線通信機器の影響によるエアコンの誤動作や故障の原因になったり、エアコン側から医療機器あるいは通信機器へ影響を与え人体の医療行為を妨げたり、映像放送の乱れや雑音などの弊害の原因になります。

濡れて困るものの上にユニットを据付けしないでください。

- 湿度が80%を超える場合やドレン出口が詰まっている場合は、室内ユニットからも露が落ちる場合があります。また、暖房時には室外ユニットよりドレンが垂れますので必要に応じ室外ユニットも集中排水工事をしてください。

## 据付け(移設)・電気工事をする前に

### ⚠ 注意

電気配線は張力がかからないように配線工事をしてください。

- 断線したり、発熱や火災の原因になります。

梱包材の処理は確実に行ってください。

製品の運搬には、十分注意してください。

- 20kg以上の製品の運搬は、1人でしないでください。
- 製品によってはPPバンドによる梱包を行っていますが、危険ですので運搬の手段に使用しないでください。
- 熱交換器フィン表面で切傷する場合がありますので、素手で触れないように注意してください。
- 包装用のポリフクロで子供が遊ばないように、破いてから破棄してください。窒息事故等の原因になります。

## 試運転をする前に

### ⚠ 警告

濡れた手でスイッチを操作しないでください。

- 感電の原因になります。

パネルやガードを外したまま運転しないでください。

- 機器や回転物、高温部、高電圧に触れると巻き込まれたり、火傷や感電によりケガの原因になります。

エアフィルターを外したまま運転しないでください。

- 内部にゴミが詰まり、故障の原因になります。

運転停止後、すぐに電源を切らないでください。

- 必ず5分以上待ってください。水漏れや故障の原因になります。

## 1. 取付け上のお願い

### (1) 必要部品

本別売部品は下記本体が必要です。適用機種を必ず確認し、誤使用のないようにしてください。

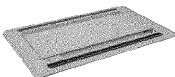
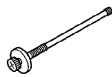



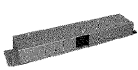







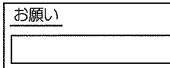
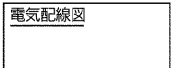
形 名	適 用 機 種			
MCMP-P45ALWH-E1	MPL-RP40LA	MPL-RP45LA	MPL-RP50LA	MPL-RP56LA
	PLFY-P22LM-E2	PLFY-P28LM-E2	PLFY-P36LM-E2	PLFY-P45LM-E2
MCMP-P71ALWH-E1	MPL-RP63LA	MPL-RP71LA	MPL-RP80LA	
	PLFY-P56LM-E2	PLFY-P71LM-E2		
MCMP-P112ALWH-E1	MPL-RP112LA	MPL-RP140LA	MPL-RP160LA	
	PLFY-P80LM-E2	PLFY-P90LM-E2	PLFY-P112LM-E2	

### (2) 制約事項

※外気取入ダクトフランジとの併用はできません。

## 2. 構成部品

本別売部品には下記部品が同梱付属されておりますので取付け前に確認してください。


自動昇降パネル		パネル取付ネジ		PTTネジ4×8	トラスネジ5×60(112形パネルのみ)	
1個		2本 (長)	2本 (短)	6本(45・71形パネルの場合) 3本(112形パネルの場合)	2本	
						
制御箱	プレートBR(45・71形パネルのみ)	ワイヤーサドル		結束バンド	ワッシャー(112形パネルのみ)	
1個	4個	4個		3個(45・71形パネルの場合) 5個(112形パネルの場合)	2個	
						
リード線(短)	リード線(中継コネクタ付き)		リード線(長)		操作ラベル	配線図メイバン
1個	1個 ※本体形名PLFY形の場合は中継コネクタを取外してご使用ください。短い方(ラベル付き)の配線は使用しません。		1個 ※本体形名MPL形では使用しません		1個	本体形名MPL形用:1個 本体形名PLFY形用:1個
	45形 : 1270mm 71形 : 1470mm 112形 : 1970mm 		45形 : 1350mm 71形 : 1550mm 112形 : 2050mm 			

※ネジ、結束バンド類の小部品の数に予備は含まれていません。なくさないでください。

## 3. 制御箱の取付け

※自動昇降パネルを取付ける前に、制御箱を取付けます。

### (1) 元電源を切ってください。

 <b>警告</b>	元電源は必ず切ってください。
	●ケガや感電の原因になります。

### (2) 制御箱を本体断熱材の切欠き部に合わせ、付属のPTTネジ 2本で締め付けます。(図1→部)

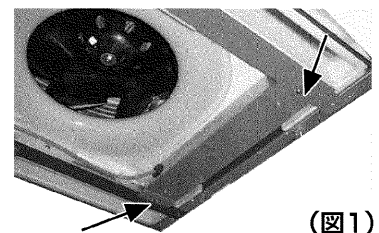
### (3) 付属のワイヤーサドルを(図2)の位置に取付けてください。(2カ所)

### (4) 制御箱から出ている電源配線を(図3)のように所定の経路に通します。(本体制御箱のフタを外して中を通してください。)

#### <本体形名MPL形の場合>

### (5) 本体ユニットの端子ボックスのカバーを取外して、端子台S1、S2へ電源配線を接続してください。

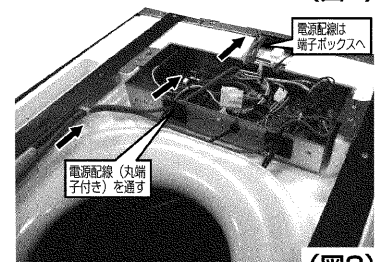
配線リブレースキットをご使用の場合は、リブレース端子台R、Sへ電源配線を接続してください。



(図1)



(図2)



(図3)

### 〈本体形名PLFY形の場合〉

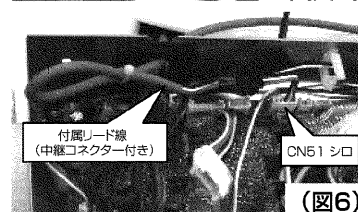
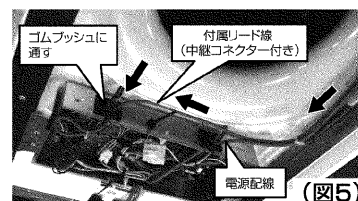
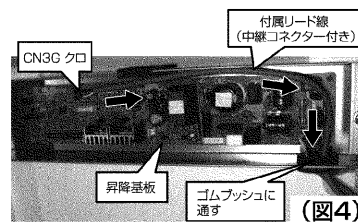
- (5) 本体ユニットの端子台ボックスのカバーを取外して、端子台R、Sへ電源配線を接続してください。  
 ※端子台への接続は、端子台のネジを外し、リード線の丸端子を端子台のネジで仮止めし、現地配線を合わせて端子に挿入しネジを本締めしてください。  
 ※接続後はボックスのカバーを必ず元に戻してください。
- (6) 本体ユニットの制御箱と端子ボックスのカバーを元どおり取付けてください。

### ワイヤードリモコンで昇降操作する場合（ワイヤード仕様）

ワイヤードリモコン（MAスムーズリモコン「PAR-24MA」）で昇降操作する場合は、下記のとおり配線を接続してください。

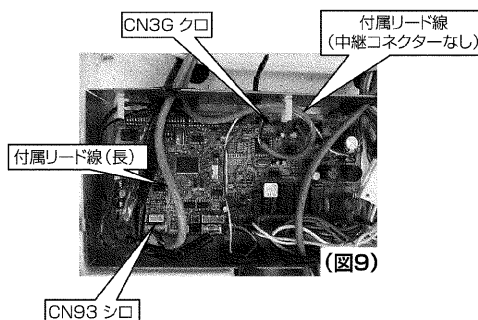
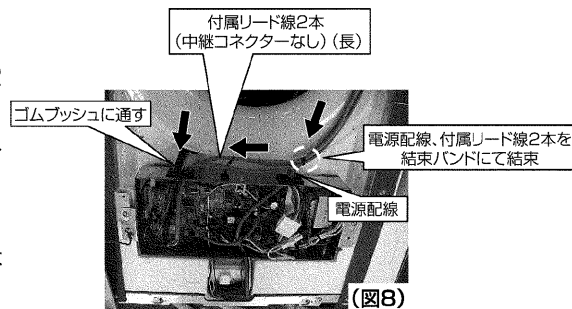
### 〈本体形名MPL形の場合〉

- (1) 付属リード線（中継コネクタ付き）を昇降基板のCN3G（クロ）に差込み、電源配線を通してあるゴムブッシュに通してください。（図4）
- (2) 図5のように所定の経路を通します。
- (3) 本体制御基板のCN51（シロ）にコネクタを確実に差込んでください。（図6）  
 ※中継コネクタは外さないでください。



### 〈本体形名PLFY形の場合〉

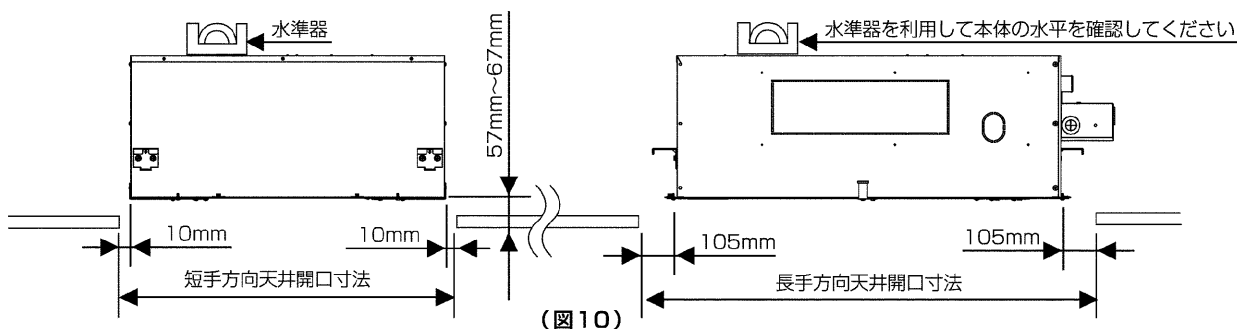
- (1) 付属リード線（長）の7心ケーブル線（コネクタ：7P クロ）を電源配線を通してあるゴムブッシュに通してください。（図7）  
 ※ゴムブッシュに通した付属リード線（長）の7心ケーブル線（コネクタ：7P クロ）は制御箱内でフリーな状態にしておいてください。
- (2) 付属リード線（中継コネクタ付き）の中継コネクタを取り外してください。  
 ※以下、“付属リード線（中継コネクタ付き）”は“付属リード線（中継コネクタなし）”とします。
- (3) 付属リード線（中継コネクタなし）を昇降基板のCN3G(クロ)に差込み、電源配線を通してあるゴムブッシュに通してください。（図4）
- (4) 図8のように所定の経路を通します。
- (5) 付属の結束バンドにて電源配線及び付属リード線（2本）を結束してください。（図8）
- (6) 付属リード線（中継コネクタなし）のコネクタ（3P クロ）を本体制御基板上のコネクタ-CN3G(クロ)に確実に差込んでください。（図9）
- (7) 付属リード線（長）のコネクタ（9P シロ）を本体制御基板のCN93(シロ)に確実に差込んでください。（図9）



<b>注意</b>	<p>ワイヤードリモコンは昇降操作するエアコン全てが見える位置に設置してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● エアコンが見えない位置から操作した場合、下降するパネルに人や物が当たり、損傷を与える原因となります。</li> </ul>
-----------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

#### 4. 自動昇降パネル取付前の準備

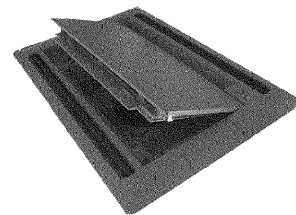
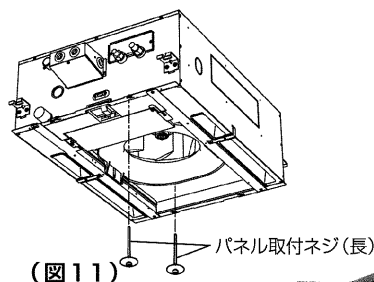
- (1) 自動昇降パネルを取付ける前に、ユニット本体が正常に吊られているか確認してください。(水平度と吊り高さ)  
 ユニット本体は、図10のように本体下面位置が天井表面より57mm以上67mm以内、天井に引き込むように据付けられていなければ正常です。



- 天井面とユニット本体の位置が正しく合っていないと風漏れや露垂れおよびパネルたわみの原因となります。
- 天井開口寸法は下記の寸法か確認してください。

45形パネル 寸法 1040×670  
 71形パネル 寸法 1210×670  
 112形パネル 寸法 1710×670

- (2) サービスパネルを外してください。  
 (パネル本体とサービスパネル間に緩衝材が入っています。  
 緩衝材を取除いてから、サービスパネルを外してください。)



#### 5. 自動昇降パネルの取付け

自動昇降パネルを取付ける前に、ユニット本体に付属のパネル取付ネジ(長)2本を図11の位置に対角で仮止めします。(図12のとおりパネル取付ネジ(長)の一段目のネジ部がユニット本体のナットを通抜ける位置までねじ込みます。)

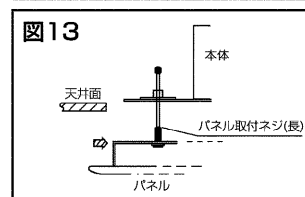
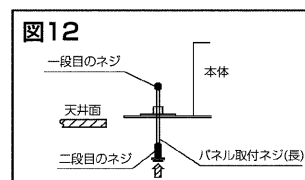
次に自動昇降パネルを取付けますが、オートベーンのコネクター部が必ず配管側になるよう方向に注意してください。

方向を合わせたら、仮止めしたパネル取付ネジ(長)にパネル本体吸込口部のU切欠き穴を引掛けます。(図13)

最初に反配管側、次に配管側を引掛けます。(図25)

(配管側はパネル取付ネジ(長)を内側に押し引掛けると作業が楽に行えます。)

この状態でパネル本体は仮止めされますが、パネルを持上げたり、強く揺らすと外れることがありますので、パネル取付ネジ(短)2本で残りの2カ所を取付けてください。



## 6. オートベーンモーターの配線

本体制御箱のカバーを外してください。(図14)

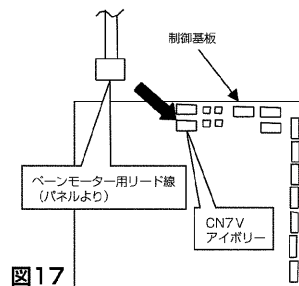
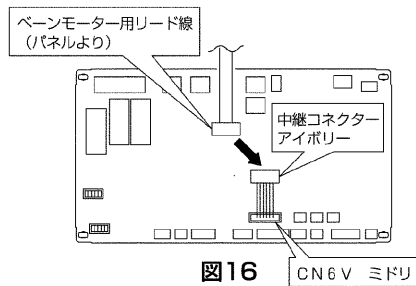
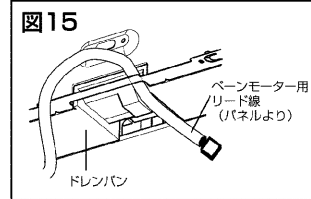
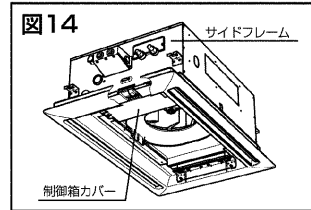
次にパネルのベーンモーターリード線をサイドフレームの穴とドレンパンの狭い側の溝を通してください。(図15)

### 〈本体形名MPL形の場合〉

本体制御基板のCN6Vに接続されている中継線のコネクタにパネルのベーンモーターリード線のコネクタを確実に差込んでください。(図16)

### 〈本体形名PLFY形の場合〉

本体制御基板のCN7Vにパネルのベーンモーターリード線のコネクタを確実に差込んでください。(図17)



※リード線は、サービスパネルに挟まれないように付属の結束バンドにて束ねてください。

※オートベーンには、無理な力を絶対に加えないでください。

故障の原因となります。

## 7. 昇降パネル制御箱の配線

(1) 自動昇降パネルの制御箱カバーのネジ2本を緩め、取外します。

(2) 黒コネクタ (2P) 2本、白コネクタ (2P) 2本、赤コネクタ (2P) 1本を昇降基板の同色コネクタに確実に差込んでください。

※リード線の余長分は付属の結束バンドにて束ねてください。

### 〈本体形名MPL形の場合,本体形名PLFY形の場合 (標準仕様)〉

パネルからの7心ケーブル線 (コネクタ: 7P クロ) を付属のリード線 (短) を使用して昇降基板CN91 (シロ) に確実に差込んでください。(図18)

### 〈本体形名PLFY形: ワイヤードリモコンで昇降操作する場合 (ワイヤード仕様)〉

パネルからの7心ケーブル線 (コネクタ: 7P クロ) と制御箱内フリー状態の付属リード線 (長) 7心ケーブル線 (コネクタ: 7P クロ) を接続してください。(図19)

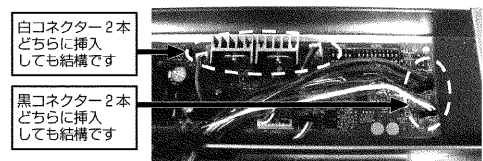
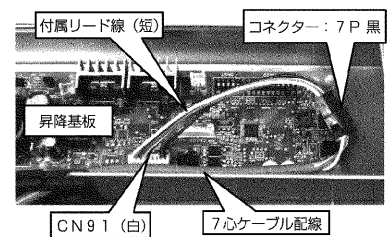


図18

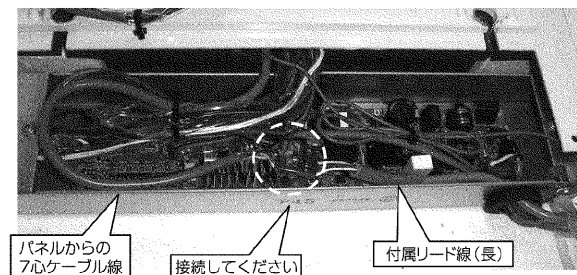


図19

## 8. アース線の配線 (P112形パネルのみ)

### 〈昇降パネル制御箱側〉

- (1) パネルからのアース線を(図20)のように制御箱内を配線し、ゴムブッシュに通してください。
- (2) (図21) のアース線取付箇所のアースネジを一度取外し、パネルからのアース線と共に再度取付けてください。  
※リード線の余長分は付属の結束バンドを用いて制御箱内で束ねてください。

### 〈本体制御箱側〉

- (1) パネルからのアース線を図15と同様にサイドフレームの穴とドレンパンの狭い側の溝を通してください。
- (2) (図22) のように本体制御箱内を通し、アース線取付箇所に付属のPTTネジ4×8を使用して、アース線を取付けてください。  
※リード線の余長分は付属の結束バンドを用いて制御箱内で束ねてください。

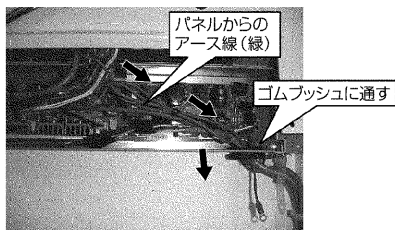


図20

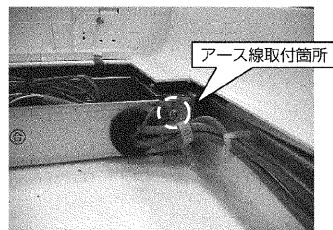


図21

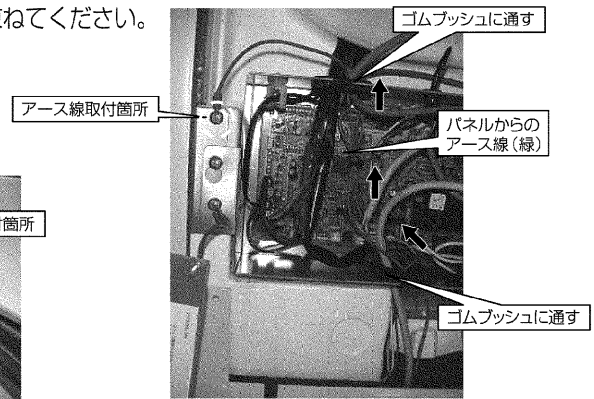


図22

## 9. サービスパネルの下降位置設定

この自動昇降パネルは、サービスパネルの下降距離を設置場所に合わせお客様の要望により、4段階に設定することができます。

※工場出荷時は、天井面より1.3mに設定しています。

※電源投入前に設定してください。(電源投入後に設定する場合は必ず電源を切ってから作業を行ってください。)

- (1) 自動昇降パネルの制御箱のカバーを外します。
- (2) 制御基板のSW22のディップスイッチを下表の設定にします。

下降距離 (天井面より)	約1.3m	約1.8m	約2.4m	約3.1m
天井高さ の目安	~2.5m	2.5~3m	3~3.6m	3.6~4.2m
SW22 の設定	工場出荷時の状態 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 ON OFF	2 3 4 5 6 7 8 9 10 ON OFF	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 ON OFF	2 3 4 5 6 7 8 9 10 ON OFF



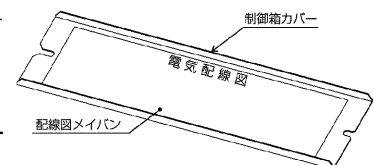
※昇降距離は目安であり、数十cmの範囲で変動することがあります。

## 10. 配線図メイバンの貼付け

自動昇降パネル制御箱カバーの裏面に図のとおり配線図メイバンを貼付けてください。貼付け後、制御箱カバーを元どおりに取付けます。

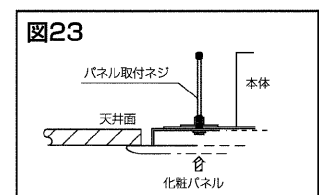
※本体形名により貼付けるメイバンが異なります。

※本体形名PLFY形でワイヤードリモコンで昇降操作をしない場合は、貼付け不要です。



## 11. 自動昇降パネルの固定

自動昇降パネルを持ち上げ、天井面に当たるまでパネル取付ネジの2段目のネジで締め付けます。(図23) また、112形の自動昇降パネルの取付けのみ、付属のトラスネジとワッシャーにて図24のように自動昇降パネルの中央部を本体に固定する作業も行ってください。





## 12. パネルネジ止め手順 (図25)

- (1) パネル中央部のトラスネジ (2カ所112形パネルのみ) を交互にバランス良く仮止めしてください。
- (2) (1)が完了しましたら図12および図13で仮止めしていた取付けネジとトラスネジを締め付けてください。  
※締付手順を間違ったり、仮止めをしなかった場合は、パネルのたわみにつながるおそれがあります。

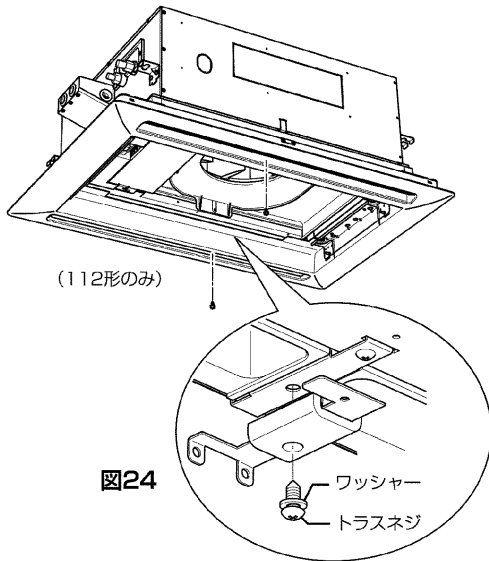


図24

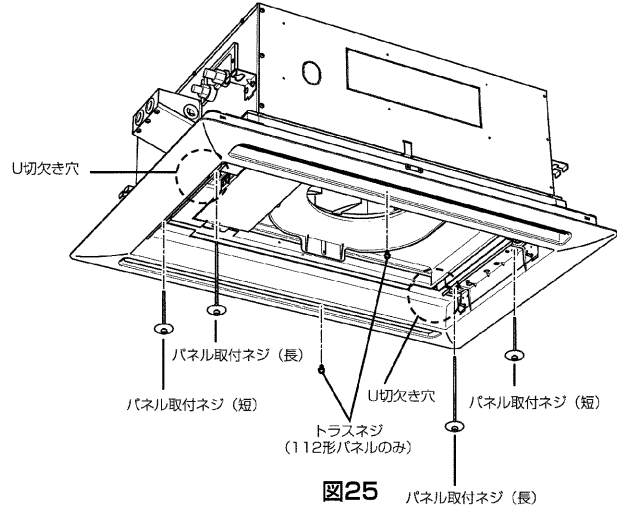


図25 パネル取付ネジ (長)

※ユニット本体と自動昇降パネル、および自動昇降パネルと天井面との間に隙間が出来ないように、4本とも (112形パネルは6本) 均等に締込んでください。

※ユニット本体と自動昇降パネル間に隙間が出来ますと風漏れにより露付、露垂れの原因になります。また、自動昇降パネルと天井面に隙間が出来ますと、パネルの露付き、スマッシング (天井面が汚れる) の原因になります。(図26)

※パネルの取付けがうまく出来ない場合は再度、本体の吊込み状態を確認してください。

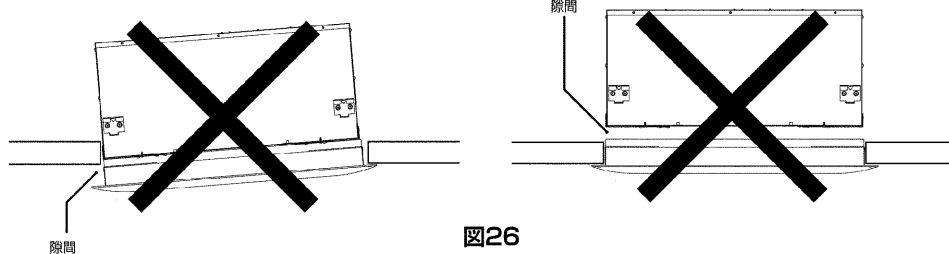


図26

## 13. サービスパネルの取付け

- (1) 自動昇降パネルにテープ貼りしているワイヤーを外してください。

次に、ワイヤー先端に取付けてある部品 (45・71形パネルの場合樹脂 / 112形パネルの場合金属製フック) をサービスパネルに取付けます。(図27、28) (断熱材を押し込んで、部品を取付けてください。)

樹脂部品  
(45・71形パネルのみ)

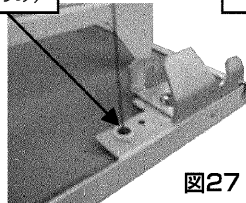


図27

金属製フック  
(112形パネルのみ)

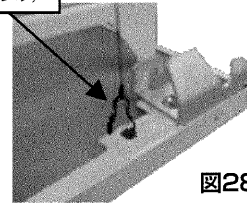


図28

- (2) (45・71形パネルのみ) 付属のプレートBRを (図29) のようにPTTネジ1個で、計4カ所ネジ止めしてください。(プレートの向きに注意してください。)

※必ず取付けてください。付け忘れた場合、サービスパネル、フィルターが落下し、ケガの原因になります。

※4本のワイヤーの張力がほぼ均一になるように調整してください。ワイヤーは下方に強く引けば下がります。

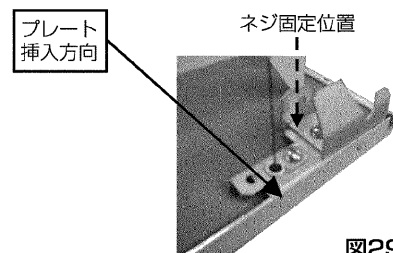


図29

## 14. 自動昇降パネルの収納（室内ユニットは必ず停止させた状態で作業してください。）

リモコンまたはパネル受光部の“上げる”ボタンを押すと、サービスパネルは収納されます。

◆電源線の接続・制御基板コネクターの接続・化粧パネルの隙間・ワイヤーの取付けを再度確認し同一電源を使用している箇所の安全を確認した上で電源を投入してください。

## 15. オートベーンおよび自動昇降パネルの動作確認

- (1) ユニット本体と自動昇降パネル、および自動昇降パネルと天井面に隙間のないことを確認してください。（図26）

※隙間があると、露たれや露付きの原因となります。

- (2) 配線接続が確実にされていることを確認します。

※接続されていないと上下風向ベーンが動かない、または露たれや露付きの原因となったり、サービスパネルが昇降しない原因となります。

- (3) サービスパネルの下降距離がお客様の要望に合っていること、また、昇降動作がスムーズであることを動作させ確認します。

昇降操作方法は14頁以降の「お取扱いについて」を参照してください。

※昇降動作中、サービスパネルが傾くことがあります。ワイヤーを巻くスピードが異なるため異常ではありません。

※正常位置にサービスパネルが収納されない場合、**最高4回**昇降動作を繰り返します。その際『カタカタ』音（クラッチ音）が鳴りますが故障ではありません。4回目の昇降動作を繰り返し後は、その状態で停止します。収納されない状態で停止している場合は再度リモコンにて数十cm程度下降操作後、再度上昇操作してください。リモコン操作を繰り返してもサービスパネルが昇降されない場合は販売店または、サービス会社までご連絡ください。

## 16. 風の吹き分け方法（ベーンの固定方法）

●オートベーンを左右個別に設定し、吹き分けることができます。（図30）

- (1) 固定するベーンのベーンモーターカバーを外します。（図31、32）

（無理矢理外すと引っ掛けのツメが割れるおそれがあります。マイナスドライバーでツメを押すと簡単に外れます。また貼付けている断熱材を剥がさないようご注意ください。）

- (2) ベーンに接続しているコネクタを外します。コネクタはロックされていますのでロック解除ボタンを押しながらコネクタを外します。（図33）

- (3) ベーンモーターカバーを、外したときと逆の要領で取付けてください。

- (4) 手でベーンをゆっくりと設定したい方向に合わせます。

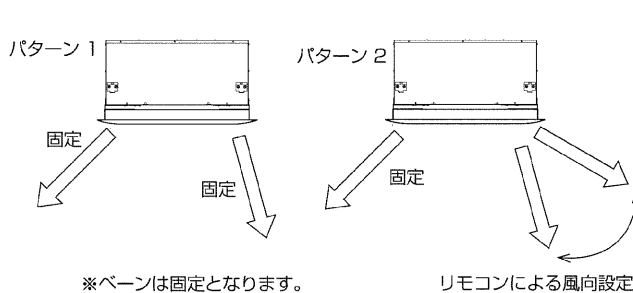


図30

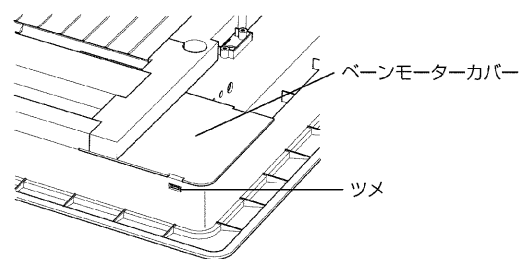


図31

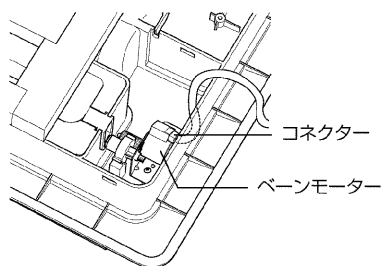


図32

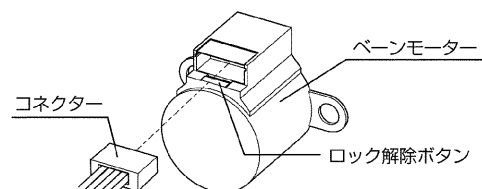


図33

## 17. 風量分配 (7:3) 方法

●別売の風量分配部品を使用すると左右の風量分配化が7:3に設定できます。

※16項の風の吹き分けとの組み合わせにより(図34)のように気流を選択できます。

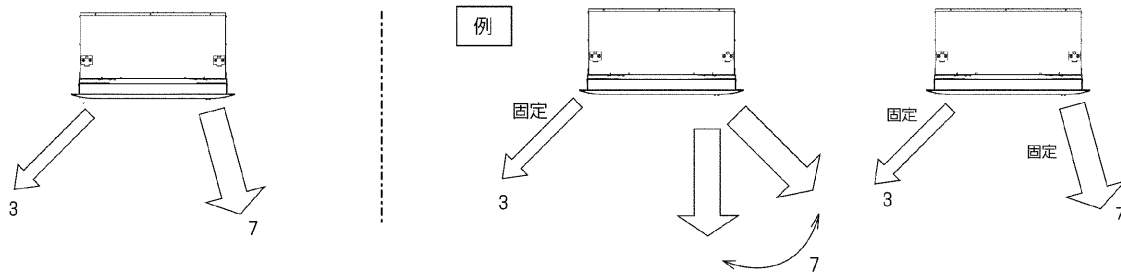


図34

## 18. 応急時のサービスパネルの固定について

電源投入前、および昇降メカ故障時サービスパネルが動作しなくなったときは、下記の応急処置を実施(仮固定)してください。

### (1) サービスパネルの取外し

サービスパネルの取外しは、「13. サービスパネルの取付け」の項と逆手順で行います。

パネルを吊上げているワイヤーは強く引っ張るとカラ回りするようになっています。パネルの両端を持ち強く下に引っ張ってください。20cm程度下がったらワイヤーからサービスパネルを取外します。

### (2) サービスパネルの取付け

4隅のパネル引掛け金具を取外し、180°回して固定します。(図35)

サービスパネルの片側を引掛け、図36のように動かして取付けます。

※サービスパネルの片側を引掛ける際、長いフック側が化粧パネルのリモコン受光部側にくるように方向に注意してください。(図36左)

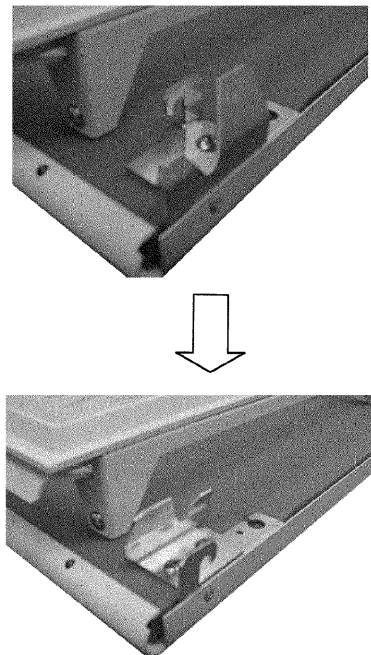


図35

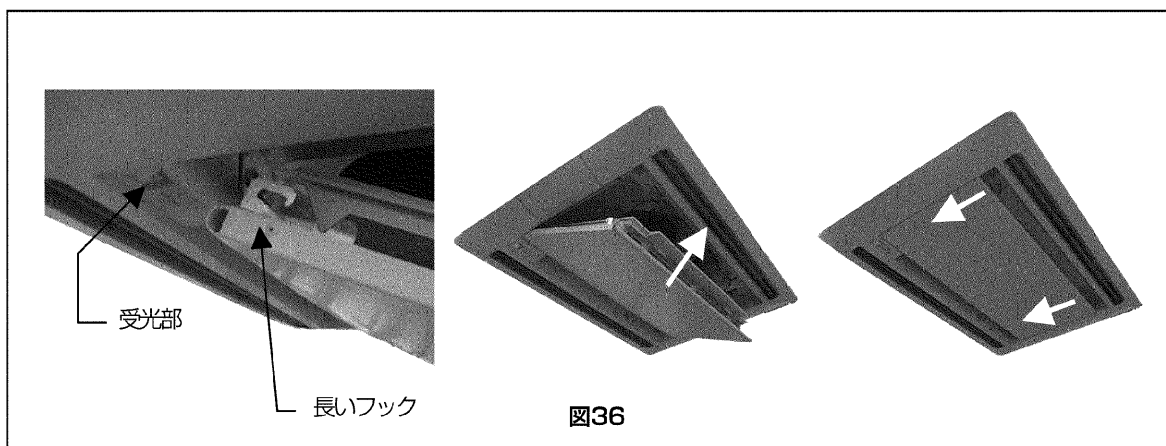


図36

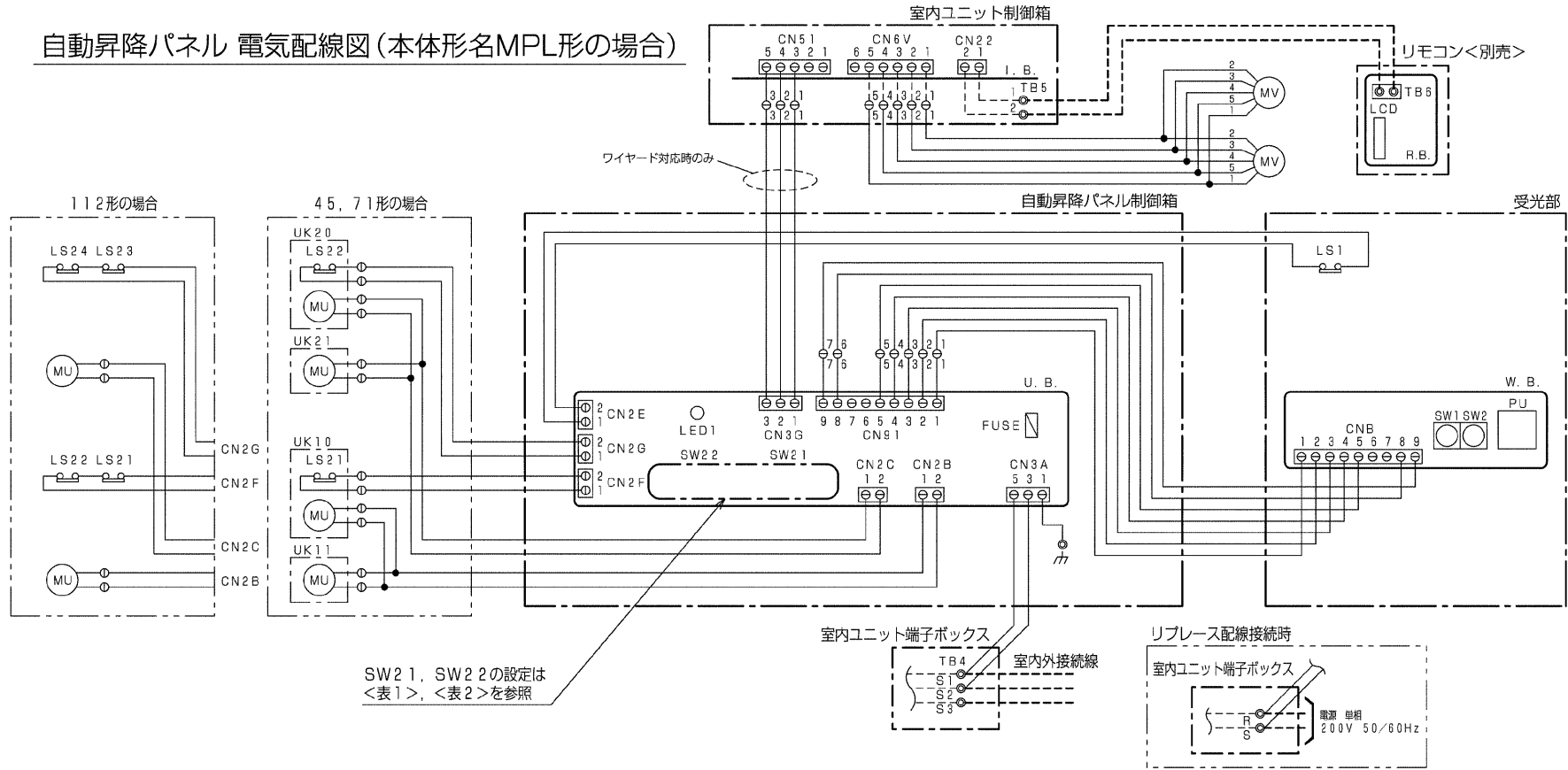
※サービスパネルは仮固定となっているため、全開にすることはできません。半開き状態で取外してください。(図36中央)

※仮固定になっていることを、張り紙などで本体に表示してください。

※修理が完了し、サービスパネルが正常に動作するようになったら反対の手順で元どおりに戻してください。



# 自動昇降パネル 電気配線図 (本体形名MPL形の場合)



SW2 1, SW2 2の設定は  
<表 1>, <表 2>を参照

<表 1>

パネル形名	SW2 1 (機種設定)
45形 71形	
112形	

<表 2>

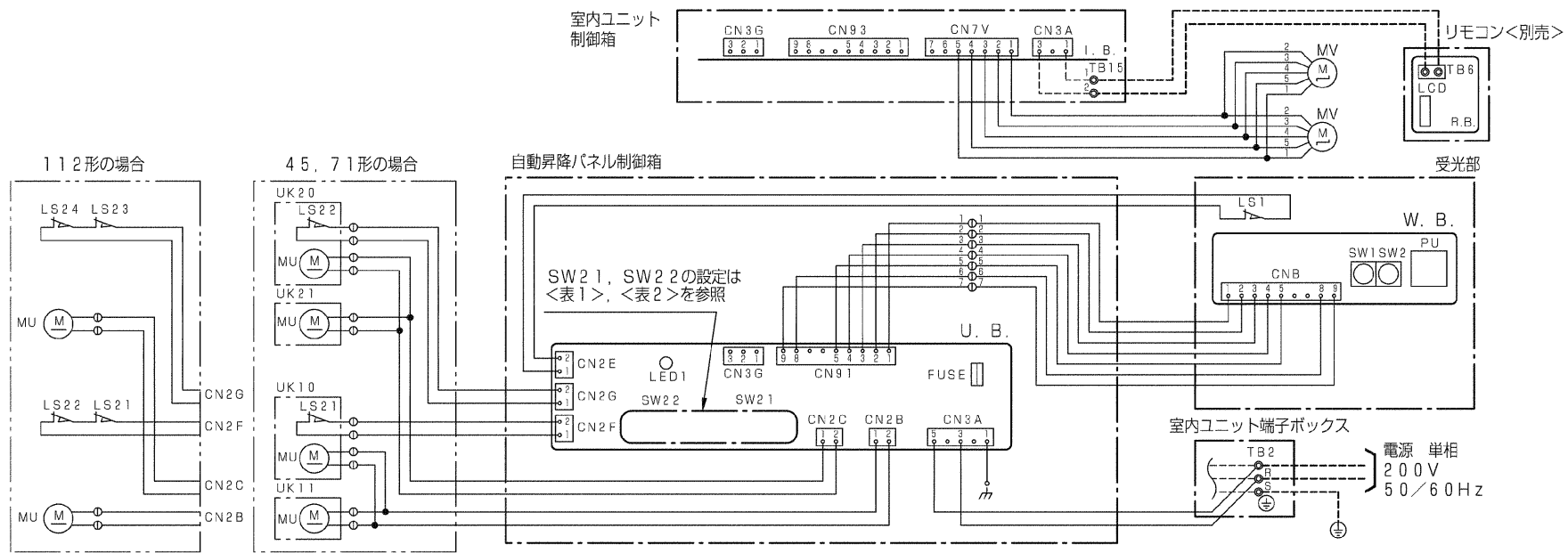
パネル形名	SW2 2 (昇降距離設定)		スイッチ設定
	下降距離	天井高さの目安	
45形 71形 112形	1. 3m (工場出荷時)	~2. 5m	
	1. 8m	2. 5~3m	
	2. 4m	3~3. 6m	
	3. 1m	3. 6~4. 2m	

注. --- (太破線) : 現地配線 / - - - (細破線) : 室内ユニット配線  
○ : コネクター / ◎ : 端子盤

## 記号説明

記号	名称	記号	名称
U.B.	昇降用制御基板	UK10,20	パネル昇降メカ(リミットスイッチ付)
SW21	スイッチ(機種設定)	UK11,21	パネル昇降メカ(リミットスイッチ無)
SW22	スイッチ(昇降距離設定)	LS1	リミットスイッチ(収納検知)
FUSE	ヒューズ<3.15A>	LS21~24	リミットスイッチ(張力検知)
W.B.	昇降用ワイヤレス受光基板	MU	昇降用電動機
SW1	応急スイッチ(下降)	MV	ベーン用電動機
SW2	応急スイッチ(上昇)	I.B.	室内制御基板 <室内ユニット>
PU	受光部(昇降用)	TB4	端子盤 (内外接続) <室内ユニット>
R.B.	リモコン基板 <別売>	TB5	端子盤 (リモコン伝送線) <室内ユニット>
TB6	端子盤 (室内ユニット接続)		
LCD	液晶表示器		

# 自動昇降パネル電気配線図 (本体形名PLFY形:標準仕様の場合)



注. --- (太破線) : 現地配線 / - - - (細破線) : 室内ユニット配線  
 ○ : コネクター / ● : 端子台

<表1>

パネル形名	SW2 1 (機種設定)
45形	ON
71形	OFF
112形	ON

<表2>

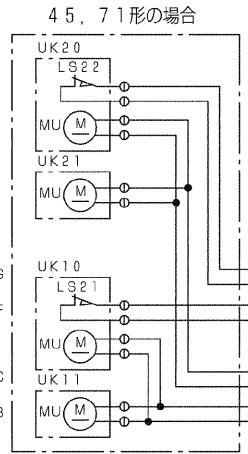
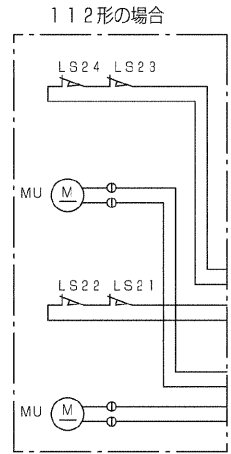
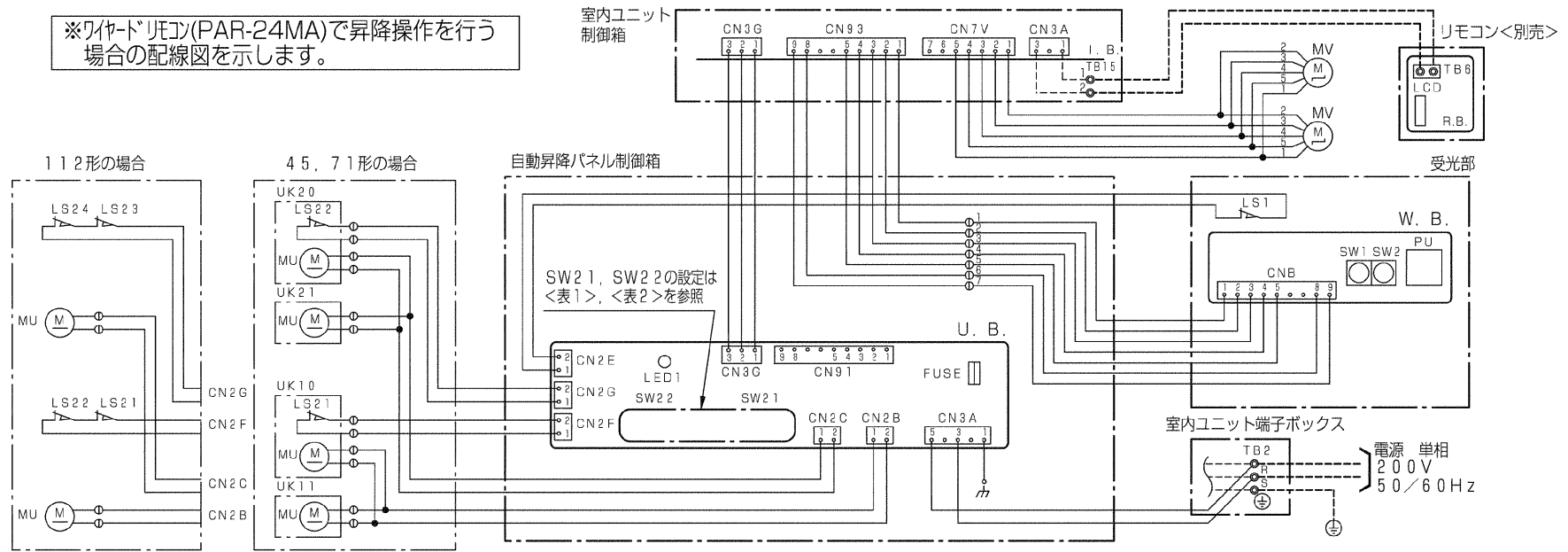
パネル形名	SW2 2 (昇降距離設定)		
	下降距離	天井高さの目安	スイッチ設定
45形 71形 112形	1. 3m (工場出荷時)	~2. 5m	ON
	1. 8m	2. 5~3m	ON
	2. 4m	3~3. 6m	ON
	3. 1m	3. 6~4. 2m	ON

## 記号説明

記号	名称	記号	名称
U.B.	昇降用制御基板	UK10,20	パネル昇降メカ(リミットスイッチ付)
SW21	スイッチ(機種設定)	UK11,21	パネル昇降メカ(リミットスイッチ無)
SW22	スイッチ(昇降距離設定)	LS1	リミットスイッチ(収納検知)
FUSE	ヒューズ<3.15A>	LS21~24	リミットスイッチ(張力検知)
W.B.	昇降用ワイヤレス受光基板	MU	昇降用電動機
SW1	応急スイッチ(下降)	MV	ペーン用電動機
SW2	応急スイッチ(上昇)	I.B.	室内制御基板 <室内ユニット>
PU	受光部(昇降用)	TB2	電源端子台 <室内ユニット>
R.B.	リモコン基板 <別売>	TB15	MAリモコン用端子台<室内ユニット>
TB6	端子台(室内ユニット接続)		
LCD	液晶表示器		

# 自動昇降パネル電気配線図(本体形名PLFY形:ワイヤード仕様の場合)

※ワイヤードリモコン(PAR-24MA)で昇降操作を行う場合の配線図を示します。



<表1>

パネル形名	SW21 (機種設定)
45形 71形	
112形	

<表2>

パネル形名	SW22 (昇降距離設定)		スイッチ設定
	下降距離	天井高さの目安	
45形 71形 112形	1.3m (工場出荷時)	~2.5m	
	1.8m	2.5~3m	
	2.4m	3~3.6m	
	3.1m	3.6~4.2m	

注: --- (太破線): 現地配線 / - - - (細破線): 室内ユニット配線  
 ⊕ : コネクター / ⊙ : 端子台

記号説明

記号	名称	記号	名称
U.B.	昇降用制御基板	UK10,20	パネル昇降メカ(リミットスイッチ付)
SW21	スイッチ(機種設定)	UK11,21	パネル昇降メカ(リミットスイッチ無)
SW22	スイッチ(昇降距離設定)	LS1	リミットスイッチ(収納検知)
FUSE	ヒューズ<3.15A>	LS21~24	リミットスイッチ(張力検知)
W.B.	昇降用ワイヤレス受光基板	MU	昇降用電動機
SW1	応急スイッチ(下降)	MV	ペーン用電動機
SW2	応急スイッチ(上昇)	I.B.	室内制御基板 <室内ユニット>
PU	受光部(昇降用)	TB2	電源端子台 <室内ユニット>
R.B.	リモコン基板 <別売>	TB15	MAリモコン用端子台<室内ユニット>
TB6	端子台(室内ユニット接続)		
LCD	液晶表示器		

## ○お取り扱いについて

### ⚠注意

- ご使用の前に、正しく安全にお使いいただくため、この説明書を必ずお読みください。
- お読みになった後は、本体操作の取扱説明書、本体据付工事説明書とともに、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

### 1. 使用上の注意

#### ⚠警告

誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などの重大な結果に結びつく可能性があるもの。

降ろしたサービスパネルの上にフィルター以外のものをのせたり、ぶらさがらない。

- 落下、転倒によるケガの原因になります。

サービスパネルの昇降操作をするときは、ユニットの運転をとめる。

- ケガの原因、昇降装置の故障の原因になります。

サービスパネルの昇降動作中にパネルの下に立たない。またはものを置かない。

- 万一サービスパネルが落下した場合などにケガの原因になります。

フィルターの清掃は1ヶ月に1回程度が目安です。

- 頻繁にサービスパネルの昇降動作を行うと寿命の低下を招くおそれがあります。サービスパネルが「上昇しない・下降しない・収納できない」場合、または糸が切れた場合は故障ですでお買い上げの販売店までご連絡ください。

電池を絶対にショートさせない。また、分解、加熱、火中への投入は絶対にしない。

- 破裂、発熱のおそれがあり、ケガ、火傷や故障の原因になります。

#### ⚠注意

誤った取扱いをしたときに、障害または家屋・家財などの損害に結びつくもの。

フィルターやサービスパネルの清掃以外の目的で昇降操作をしない。

- ケガや故障の原因になります。

連続して繰り返しての昇降操作をしない。また、サービスパネルを降ろしたままにしない。

- ケガの原因、昇降装置の故障の原因になります。

サービスパネルの昇降操作中に、ワイヤーやサービスパネルには触らない。または揺らさない（風の吹いている場所での使用を控えて下さい）。

- サービスパネルがぶつかったり、ワイヤーが巻き付いたりしてケガの原因、昇降装置の故障の原因になります。また、寿命低下の要因となります。

ワイヤーは折り曲げたり、刃物やタバコの火などで触れない。

- ワイヤー切断によりサービスパネル、フィルターが落下し、ケガの原因になります。

フィルター清掃時、または動作中にサービスパネルに下方への力を加えない。

- 昇降装置の故障の原因になります。

リモコンは、お子様の手の届く所に置かない。

- ケガの原因になります。
- 電池を飲み込んだりして危険です。

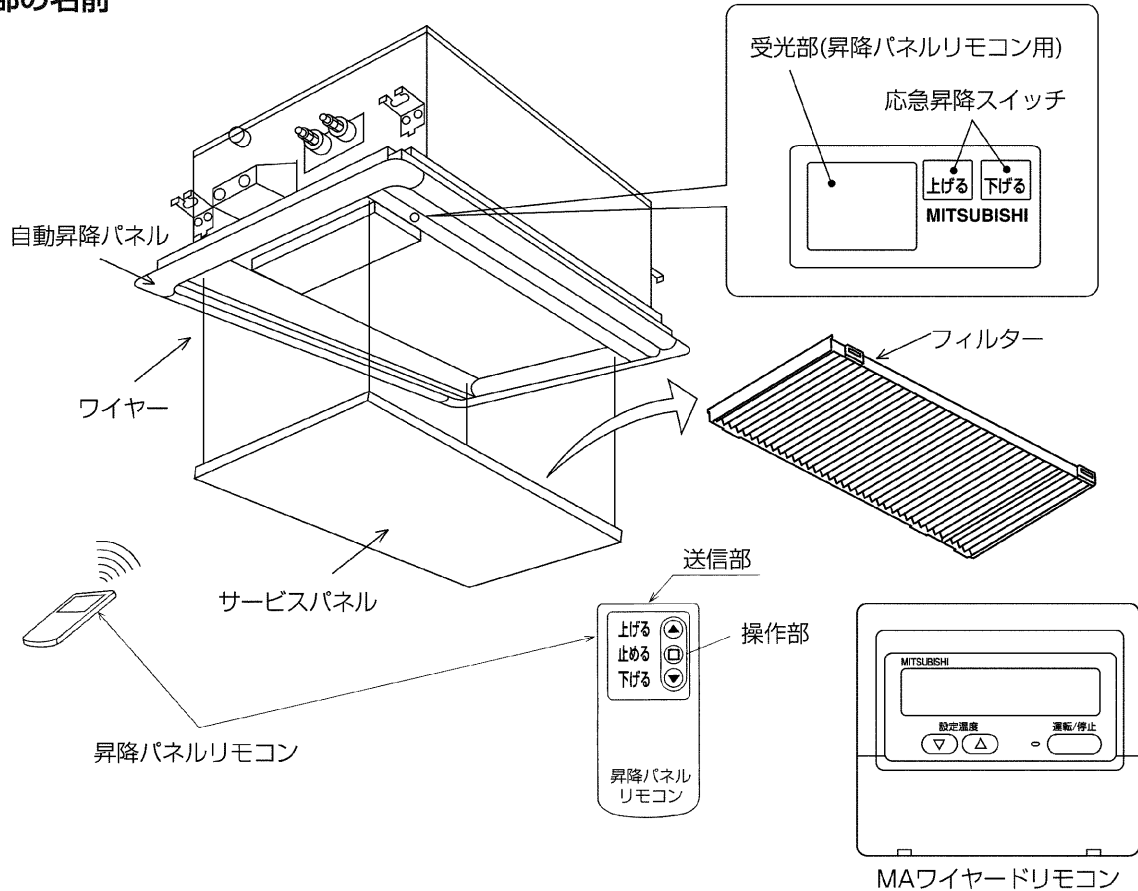
エアコンを見ながら昇降操作をする。また、エアコンの下には昇降の障害となる物を置かない。人も近づけない。

- サービスパネルが人や物に当たり、ケガの原因、物品損傷の原因になります。

電池の使い方を誤ると液漏れ、破裂、発熱のおそれがあり、機器の故障やケガなどの原因になりますので下記のことを必ず守る。

- (1) 充電しない。
- (2) (+) (-) を正しく入れる。
- (3) 使い切った電池はすぐに器具から取外す。

## 2. 各部の名前



## 3. ワイヤレスリモコン（昇降パネルリモコン）の取扱い

(1) ワイヤレスリモコンは自動昇降パネルの真下から受光部に向かって操作してください。

※ワイヤレスリモコンの送信部の信号が受光部に届き、“ピッ”と音を出してお知らせします。この信号の届く範囲は直線方向で約3m、左右方向約30°程度です。また、蛍光灯などの照明や強い光の影響を受けて、信号が届きにくくなることがあります。

※ワイヤレスリモコンの取扱いは大切にしてください。落としたり、衝撃を与えないでください。また、水に濡らしたり、湿気の高いところには置かないでください。

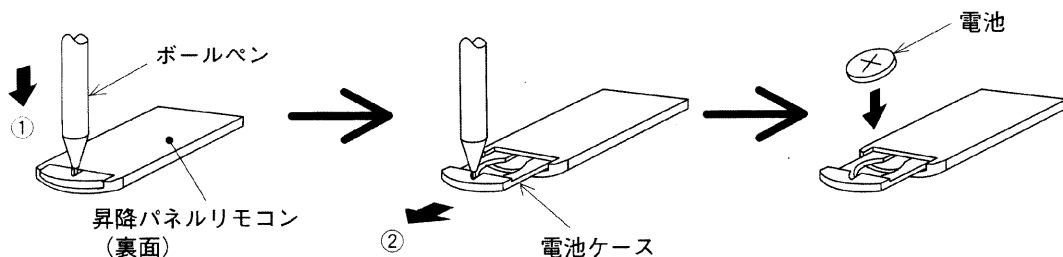
※紛失防止のために、ワイヤレスリモコンに付属のマジックテープを使用し、壁等に固定するようにしてください。また、使用後は必ず元に戻すようにしてください。

(2) ワイヤレスリモコンの電池の入れ方

・ボールペン等の先端で矢印①のように下へ押しつけながら矢印②の方向にスライドし、電池ケースを外します。

・電池はリチウム電池（CR2025、3V）をお使いください。

・電池はプラス表示面を上にして電池ケースに入れ、電池ケースを元のようにワイヤレスリモコンへセットします。





## 4. サービスパネルの昇降操作のしかた

### 操作上のご注意

- ・サービスパネルは、ワイヤーに張力のかかった状態でないと昇降しません。
- ・連続して繰り返しの下降・上昇の操作をしないでください。(故障の原因になります。)
- ・サービスパネルを降ろす際に、下に障害物が無いことを確認してください。
- ・フィルター清掃後、元のとおり確実にサービスパネルに取付けないと、サービスパネルが収納しません。また、故障の原因になります。

### ワイヤレスリモコンからの操作

- (1) エアコンの運転を必ず停止します。



**警告**

**エアコンの運転を必ず停止します。**

- ケガや故障の原因になります。

- (2) リモコンの“下げる” ボタンを押し、サービスパネルを降ろします。

サービスパネルが下降し、一定の距離で自動停止します。

※工場出荷時は、天井面より約1.3mで自動停止します。下降距離の設定を変更したい場合は、お買い上げの販売店へご相談ください。(その他にも、1.8m/2.4m/3.1mの設定が可能です。)

※下降中に停止したい場合は、リモコンの“止める”または“上げる” ボタンを押すと任意の位置で停止します。

- (3) フィルターを外し、清掃します。(「5. 清掃のしかた」の項目をご参照ください。)

- (4) リモコンの“上げる” ボタンを押し、サービスパネルを収納します。

※上昇中に停止したい場合は、リモコンの“止める”または“下げる” ボタンを押すと任意の位置で停止します。



**警告**

**昇降動作中はユニットの下に立たない。または物を置かない。**

- 万が一サービスパネルが落下した場合等に、ケガの原因になります。



**注意**

**エアコンを見ながら昇降操作をする。また、エアコンの下には昇降の障害となる物を置かない。人も近づけない。**

- サービスパネルが人や物に当たり、ケガの原因、物品損傷の原因になります。

※正常位置にサービスパネルが収納されない場合、**最高4回**昇降動作を繰り返します。その際『カタカタ』音(クラッチ音)が鳴りますが故障ではありません。4回目の昇降動作を繰り返し後は、その状態で停止します。収納されない状態で停止している場合は再度リモコンにて数十cm程度下降操作後、再度上昇操作してください。リモコン操作を繰り返してもサービスパネルが昇降されない場合は販売店または、サービス会社までご連絡ください。

※昇降動作中サービスパネルが傾くことがあります。ワイヤーを巻くスピードが異なるため異常ではありません。

### ワイヤードリモコンからの操作


### ワイヤードリモコン操作上のご注意

- ・部屋のレイアウトの変更などにより、ワイヤードリモコンの位置からエアコンが見えない場合は、下降するパネルに人や物が当たり、損傷を与えるおそれがありますので、昇降パネル用ワイヤレスリモコン(別売)をご使用ください。詳しくは販売店にお問い合わせください。
- ・危険防止のため、必ずエアコンを見ながら昇降操作をしてください。
- ・ワイヤードリモコンが管理しているエアコンが複数ある場合、全てのエアコンのサービスパネルが同時に昇降します。リモコンからの設定によりエアコン個別指定が可能です。操作を誤った場合、下降するパネルに人や物が当たり、損傷を与えるおそれがありますので、必ず昇降操作しているエアコンの下には障害となる物を置かないようにし、人も近づかないようにしてください。
- ・ワイヤードリモコンからの昇降操作時、途中で停止させる場合は、すぐには止まりませんので、必ず昇降操作しているエアコンの下には障害となる物を置かないようにし、人も近づかないようにしてください。


## ■一般的な操作

※ リモコンが管理している全てのエアコンのサービスパネルを同時に昇降させます。



- (1) エアコンの運転を、必ず「停止」にしてください。  
※ 「停止」にしないと昇降操作モードに入れません。

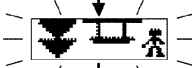
 <b>警告</b>	エアコンの運転を必ず停止します。
	●ケガや故障の原因になります。


- (2) リモコンの（フィルター）と（換気）ボタンを、同時に2秒以上押して、昇降操作モードに入ります。

「昇降操作モード」表示 

- (3) 設定温度（▽）を押すと、しばらくしてからサービスパネルが下降します。

「下降 準備中」表示  交互  「準備中」

「下降中」表示（点滅） 

下降終了「停止」表示 

### 【ご注意】

- 下降中に（△）ボタンを押すと停止操作となりますが、すぐには止まりません。（最大8秒かかります）  
※リモコンに「準備中」が表示されているときは操作が無効となりますので、「下降中」表示（点滅）中に操作してください。
- 工場出荷時は、天井面より1.3mの下降距離で自動停止します。  
※下降距離を変更したい場合は、お買い上げの販売店へご相談ください。（1.8m/2.4m/3.1mの設定変更ができます。距離は目安ですので、実際に下降させて確認してください。）



**警告**

昇降動作中はユニットの下に立たない。または物を置かない。

- 万が一サービスパネルが落下した場合等に、ケガの原因になります。



**注意**



エアコンを見ながら昇降操作をする。また、エアコンの下には昇降の障害となる物を置かない。人も近づけない。

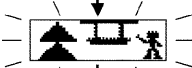
- サービスパネルが人や物に当たり、ケガの原因、物品損傷の原因になります。

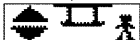
※リモコンの位置からエアコンが見えない場合は、昇降パネル用ワイヤレスリモコン（別売）をご使用ください。  
詳しくは、販売店にお問い合わせください。

- (4) フィルターやサービスパネルをはずし、清掃します。  
（「5. 清掃のしかた」の項目をご参照ください。）

- (5) 設定温度（△）を押すと、しばらくしてからサービスパネルが上昇し、収納されます。

「上昇 準備中」表示  交互  「準備中」

「上昇中」表示（点滅） 

収納完了「停止」表示 

### 【ご注意】

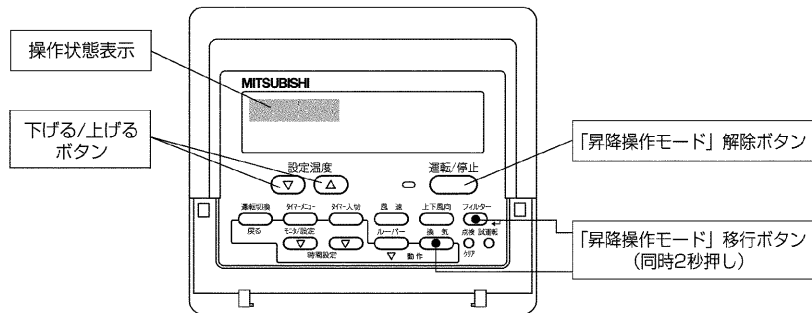
- 上昇中に（▽）ボタンを押すと停止操作となりますが、すぐには止まりません。（最大8秒かかります）  
※リモコンに「準備中」が表示されているときは操作が無効となりますので、「上昇中」表示（点滅）中に操作してください。

<b>警告</b>	昇降動作中はユニットの下に立たない。または物を置かない。
	●万が一サービスパネルが落下した場合等に、ケガの原因になります。

<b>注意</b>	エアコンを見ながら昇降操作をする。また、エアコンの下には昇降の障害となる物を置かない。人も近づけない。
	●サービスパネルが人や物に当たり、ケガの原因、物品損傷の原因になります。

※リモコンの位置からエアコンが見えない場合は、昇降パネル用ワイヤレスリモコン（別売）をご使用ください。詳しくは、販売店にお問い合わせください。

- (6) (運転/停止) ボタンを押す。または (フィルター) と (換気) ボタンを、同時に2秒以上押して昇降モードを解除してください。
- ※ 昇降モード終了後、約30秒間は操作をしないでください。操作しても受け付けません。



**■エアコン個別指定しての昇降操作**  
 ※ リモコンが管理しているエアコンのうち、特定のエアコンを指定してサービスパネルを昇降させます。

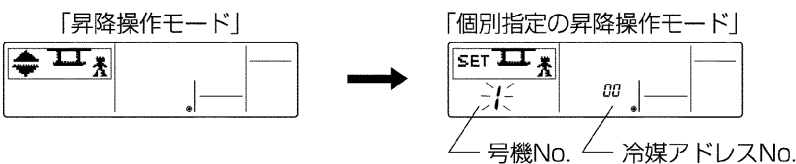
- (1) エアコンの運転を、必ず「停止」にしてください。  
 ※ 「停止」にしないと昇降操作モードに入れません。

<b>警告</b>	エアコンの運転を必ず停止します。
	●ケガや故障の原因になります。

- (2) リモコンの (フィルター) と (換気) ボタンを、同時に2秒以上押して、昇降操作モードに入ります。



- (3) (換気) ボタンを押すと、しばらくして「個別指定の昇降操作モード」に切り替わります。



操作対象のエアコンNo. がわからない場合。→ (4) へ	右上図の表示では、現在 ■冷媒アドレスNo. "00" ■号機No. "1" のエアコンが選択されている状態です。	操作対象のエアコンNo. がわかっている場合。→ (5) へ
-------------------------------	--------------------------------------------------------------------	--------------------------------

- (4) “号機No.”または“冷媒アドレスNo.”が点滅している状態で（フィルター）ボタンを押すと、しばらくしてから、**表示対象のエアコンのみ上下風向角度が下吹き**になります。（対象以外のエアコンの風向は水平吹きとなります。）

■次項(5)の操作で、“号機No.”、“冷媒アドレスNo.”の切換え、および（フィルター）ボタンを押しての上下風向角度により操作対象エアコンをお探してください。

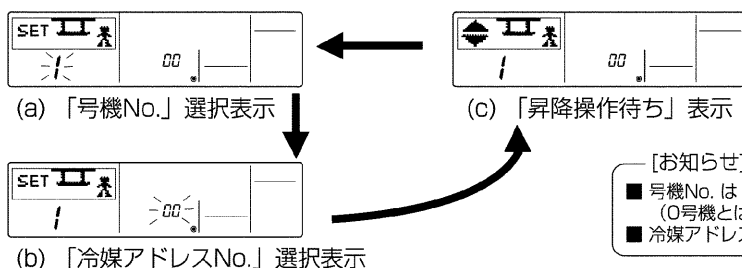
[お知らせ]

■（フィルター）押しによる対象エアコン確認時に、“Err”表示となった場合は、対象の「号機」や「冷媒アドレス」のエアコンが存在しないと考えられます。再度、設定し直してください。

- (5) “号機No.”および“冷媒アドレスNo.”の選択をしてください。

■号機No. または、冷媒アドレスNo. の変更は、**下記(a) (b)画面の状態**で、**設定温度 (▽) (△) ボタン**で変更できます。

■（運転切換）ボタンを押すごとに、下記のように操作内容の対象が切り替わります。

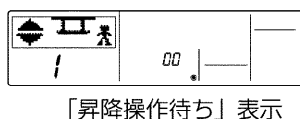


[お知らせ]

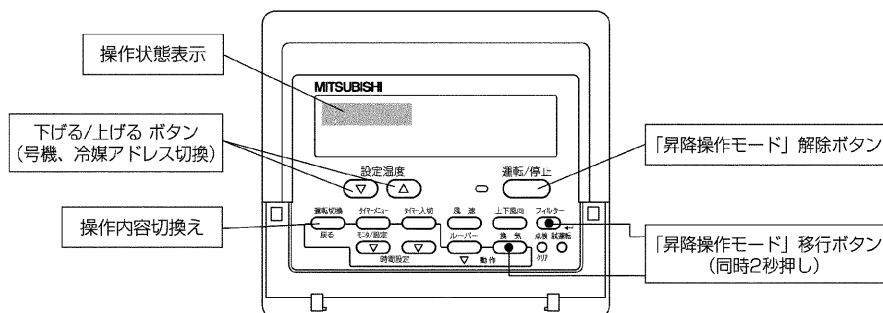
■号機No. は “1~4” 号機および “0” 号機の切換えになります。（0号機とは、1~4号機の全てを対象とします。）

■冷媒アドレスは、“0~15” アドレスの切換えになります。

- (6) （運転切換）ボタンを押していき、「昇降操作待ち」表示に切換えてください。



以降の操作は、「一般的な操作」項の(3)～(6)操作と同じになりますので、そちらの項をご覧ください。



## 5. 清掃のしかた

- (1) フィルターの引掛け部を引いて、フィルターを外します。

- (2) フィルターのほこりを掃除機で吸取るか、水洗いします。

※汚れがひどい時は中性洗剤を溶かしたぬるま湯ですすいでください。

※熱い湯（約50℃以上）で洗わないでください。（変形することがあります。）

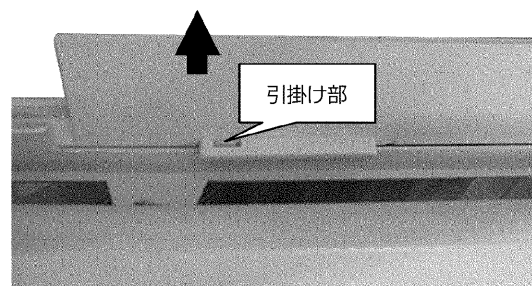
- (3) 水洗いした後は、日陰でよく乾かします。

**（乾燥が十分でない場合、寿命低下の要因となります。）**

※直射日光や直接火にあてて乾かさないうでください。（変形することがあります。）

- (4) フィルターをサービスパネルに取付けます。（取外しの逆手順）

※フィルターの向きに注意してください。（180°反転はできますが、表裏は反転できません。）



## 6. 応急昇降について

ワイヤレスリモコンが使えない時（電池切れ・紛失・故障時等）に、受光部の応急スイッチにより操作することができます。

※高所作業になりますので、十分注意して操作してください。

※下降・上昇の操作方法はワイヤレスリモコンと同じですが、停止される場合は昇降中の動作と逆のボタンを押すことにより停止します。

（ 下降中に“上げる”ボタンを押すと停止  
 上昇中に“下げる”ボタンを押すと停止 ）

## 7. 「故障かな?」と思ったら

サービスを依頼される前にお確かめください。

症 状	原 因	処 置
リモコンを操作してもサービスパネルが動かない。	エアコンを運転していませんか？	エアコンの運転を止め、再操作してください。
	停電ではありませんか？	停電復帰後、再操作してください。
	ワイヤレスリモコンに電池は入っていますか？ または、電池が消耗していませんか？	電池を入れる、または交換してください。
	サービスパネルの上に何か載っていますか？または、サービスパネルに何か引掛かっていますか？	載っているものをとる、または引掛かりを外してください。
	ワイヤーがたるんでいませんか？	ワイヤーがたるんでいると昇降動作しません。ワイヤーに張力のかかった状態にしてください。
サービスパネルが収納できない。	サービスパネルの上に何か載っていますか？	載っているものをとってください。
	フィルターがきちんと取付けられていますか？	再下降して、フィルターが確実に取付いているか確認してください。
	サービスパネルにワイヤー先端樹脂部品が4カ所とも取付けられていますか？	再下降して、サービスパネルにワイヤー先端樹脂部品を取付けてください。
サービスパネルが途中で止まる。 （それ以上、下がらない）	サービスパネルが自動位置まで降りたためです。（それ以上下げようとすると“ピー、ピー、ピー”と音がします。）	異常ではありません。 ※下降距離の設定を変更したい場合は、お買い上げの販売店へご相談ください。
昇降動作中に音がする。 （上昇中または下降中）	ワイヤーが巻かれる、または出される時の音です。	異常ではありません。
サービスパネル収納後「カタカタ」音が数秒間鳴る。	パネルの昇降モーターのクラッチが作動している音です。（収納を確実にを行うための動作です。）	
昇降動作中にサービスパネルが傾く。	各ワイヤーを巻くスピードが多少異なるためです。	
サービスパネル収納後「カタカタ」音が止まらない。	基板へのコネクタが差込まれていますか？ （収納した事を検知していません。）	コネクタを確実に差込んでください。
サービスパネル収納時に数回収納動作を繰り返す。	1回で収納できない。	異常ではありません。 ※ただし、最終的に収納しない状態で停止した場合はお買い上げの販売店またはサービス会社までご連絡ください。
昇降動作途中で停止した後、再度動作させた時に再収納動作（下降・上昇を繰り返す）となる。	昇降距離の検知がされていません。	リモコンで操作し、サービスパネルを1回収納した状態に戻してご使用ください。

※以上のことをお確かめになった上で、なお調子がよくないときは、ご自分で修理しないでお買い上げの販売店にご相談ください。

## 8. 保証とアフターサービス

### ■機器予防保全の目安【保全周期は保証期間を示しているものではありませんのでご注意ください。】

製品の昇降回数は、1回/月、12回/年と仮定しています。

また、下記の項目に適合する時には、「保全周期」および「交換周期」の短縮を考慮する必要があります。

- ・ 温度・湿度の高い場所あるいはその変化の激しい場所でご使用される場合。
- ・ 電源変動（電圧、周波数、波形歪みなど）が大きい場所でご使用される場合。
- ・ 振動、衝撃が多い場所に設置されご使用される場合。
- ・ 塵埃、塩分、亜硫酸ガスおよび硫化水素などの有害ガス・オイルミスト等良くない雰囲気でご使用される場合。
- ・ 頻繁な発停のある場合、運転時間が長い場合。（24時間空調など）

表－1. 「点検周期」および「保全周期」の一覧表

主要部品名	点検周期	保全周期 [交換または修理]
昇降モーター	1年	昇降回数：120回

注. この保全周期は、製品を長く安心してご使用いただくために、保全行為が生じるまでの目安期間を示していますので、適切な保全設計（保守点検費用の予算化など）のためにお役立てください。

- 定期点検実施の場合でも予期出来ない突発的偶発故障が発生することがあります。この場合、保証期間外での故障修理は有償扱いとなります。

### ● 補修用部品の保有期間について

この製品の補修用部品の最低保有期間は、製造打ち切り後9年間となっています。この期間は経済産業省の指導によるものですが、当社はこの基準により補修用部品を調達した上修理によって性能を維持できる場合は、お客様のご要望により有償修理を実施致します。

### ■アフターサービスご契約のおすすめ

- 当社指定のサービス会社と保守契約（有料）いただければ、専門のサービスマンがお客様に代わって保守点検を致します。万一の故障の時も早期に発見し適切な処置を行う事が出来ます。

### ■保証について【保証期間は、お買い上げ日または据付日または試運転完了日から起算して1年間です。】

- 良好な状態で長く安心してご使用いただくために、お客様に実施いただく日常点検（フィルター清掃など）以外に専門技術者による定期的な保守点検を実施してください。  
標準的な保守点検の「点検周期」および定期点検に伴う「保全周期」[主要部品の交換・修理実施周期]は、表－1を目安にされると便利です。なお、保守点検の内容は契約会社によって若干異なる場合がありますので、契約時によくお確かめください。

お客様への説明

- 説明書の手順に沿ってわかりやすく説明してください。 ●この説明書は据付後お客様にお渡しください。

 **三菱電機株式会社**

〒100-8310 東京都千代田区丸の内2-7-3(東京ビル)  
〒640-8686 和歌山市手平6-5-66冷熱システム製作所(073)436-2111

WT04786X04

